

課題別臨床実習：645-6-DP5・DP6・DP7・DP8

| | | |
|-----|-----|-----------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 6年次 | 前学期 | 6年次学年教育主任 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|------------|---------------|------------|-------|-------|--------------|------------|-------|-------|---------------|------------|-------|
| 学修目標 (GIO) と 単位数 | <ul style="list-style-type: none"> ・単位数：3単位 ・学修目標（GIO）：患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 | | | | | | | | | | | | |
| 担当教員 | <p>*有川 量崇、*清水 武彦、*野本 たかと、*福本 雅彦、*飯島 守雄、*多田 充裕、*清水 邦彦、*西村 均、*村上 洋、*山口 秀紀、*飯田 崇、*石橋 肇、*伊藤 龍朗、*内田 貴之、*梅澤 幸司、*大久保 昌和、*大村 祐史、*岡本 康裕、*北川 剛至、*五関 たけみ、*下坂 典立、*高井 英樹、*林 佐智代、*瀧上 真奈、*石井 かおり、*岩井 啓寿、*岡本 京、*神尾 直人、*鈴木 正敏、*平原 尚久、*村岡 宏隆、*榎本 豊、*神谷 直孝、*内堀 聡史、*山本 泰、*岩田 好弘、*五十嵐 憲太郎、*玉木 大之、*竹森 真実、*根本 晴子、*飯塚 普子</p> | | | | | | | | | | | | |
| 講義実施要項 | <p>1. 期間 令和4年5月6日（金）～6月30日（木） 午後1時～午後5時まで（試験は午前中に実施することがある）</p> <p>2. 場所 400教室</p> <p>3. 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床実習に関わる知識、技能、態度（各科SBOs）についての解説を、6年生全員を対象に実施する。 2) 歯科医師国家試験出題基準の必修および総論の項目の解説と問題演習を行う。 3) 治療の基本術式と手順、器具の名称と使用方法、検査の目的と方法、などについての解説と問題演習を行う。 <p>4. 実習平常試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 多肢選択問題（国家試験改変問題あるいはオリジナル問題）とする。 2) 日 時 <table border="0"> <tr> <td>平常試験1</td> <td>令和4年5月 20日（金）</td> <td>9:00～10:20</td> <td>（60問）</td> </tr> <tr> <td>平常試験2</td> <td>令和4年6月 6日（金）</td> <td>9:00～10:40</td> <td>（72問）</td> </tr> <tr> <td>平常試験3</td> <td>令和4年6月 24日（金）</td> <td>9:00～10:50</td> <td>（75問）</td> </tr> </table> <p>5. 出欠席</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 13:00 400教室 2) 各講義担当者が出席確認を実施する。 3) 出席確認は課題別講義とは別に実施し、1日の欠席1ポイント、遅刻早退0.5ポイントとする。 | 平常試験1 | 令和4年5月 20日（金） | 9:00～10:20 | （60問） | 平常試験2 | 令和4年6月 6日（金） | 9:00～10:40 | （72問） | 平常試験3 | 令和4年6月 24日（金） | 9:00～10:50 | （75問） |
| 平常試験1 | 令和4年5月 20日（金） | 9:00～10:20 | （60問） | | | | | | | | | | |
| 平常試験2 | 令和4年6月 6日（金） | 9:00～10:40 | （72問） | | | | | | | | | | |
| 平常試験3 | 令和4年6月 24日（金） | 9:00～10:50 | （75問） | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (EV) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価 平常試験を3回実施し、合算して評価する。 評価が60点未満の場合、再試験を実施する。 2. 再試験 令和4年6月28日（火） 9:00～10:40（70問） 再試験は60点以上を合格とする。平常試験の結果を加味できる。 | | | | | | | | | | | | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|---------|---|--------|
| 2022/05/06（金） 1時限 13:00～13:50 | 総合歯科診療科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 口臭検査について説明できる。 3. 唾液検査について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：口臭検査、唾液検査について概説できるようにしておく。 準備学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 f 口臭検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査</p> | *多田 充裕 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------|--|------------------|
| 2022/05/06 (金) 1時限 13:00～13:50 | 総合歯科診療科 | イ 顎口腔機能検査 d 唾液・唾液腺検査 | *多田 充裕 |
| 2022/05/06 (金) 2時限 14:00～14:50 | 総合歯科診療科 | <p>【授業の一般目標】 顎関節疾患の治療を行えるようになるために、顎関節の解剖学的特徴を理解するとともに、代表的な顎関節疾患について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎関節の解剖学的特徴を説明できる。 3. 顎関節疾患と顎関節症の違いを説明できる。 4. 顎関節脱臼について説明できる。 5. 滑膜性骨軟骨腫症について説明できる。 6. 筋突起過長症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：過去5年の歯科医師国家試験の顎関節疾患に対する問題の確認 準備学修項目：30分程度 事後学修項目：授業内容の再確認 事後学修時間：30分程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイントにて授業・講義内容の抜粋をプリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 d 顎関節脱臼</p> | *内田 貴之 |
| 2022/05/06 (金) 3時限 15:00～15:50 | 総合歯科診療科 | <p>【授業の一般目標】 十分な情報収集・情報の整理を行い、患者中心の医療を実践するために、問題志向型診療録について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 問題解決過程について説明できる。 3. POSについて説明できる。 4. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 5. SOAPについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：臨床実習において実践しているPOMRの内容確認 ・準備学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型)の管理・保存</p> | *岡本 康裕 |
| 2022/05/09 (月) 1時限 13:00～13:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------|--|------------------|
| 2022/05/09 (月) 1時限 13:00～13:50 | 放射線科 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |
| 2022/05/09 (月) 2時限 14:00～14:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |
| 2022/05/09 (月) 3時限 15:00～15:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------|---|------------------|
| 2022/05/09 (月) 3時限 15:00～15:50 | 放射線科 | <p>1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |
| 2022/05/10 (火) 1時限 13:00～13:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |
| 2022/05/10 (火) 2時限 14:00～14:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|------------------|
| 2022/05/10 (火) 3時限 15:00～15:50 | 放射線科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線の作用と性質について説明できる。 3. 放射線の防護・管理について説明できる。 4. 顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5. 顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> | *村岡 宏隆 *平原 尚久 |
| 2022/05/11 (水) 1時限 13:00～13:50 | 臨床検査科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査の手技 (採血・尿検査・血圧) を説明できる。 3. 貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4. 検査結果を適切に分析することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：4年次に配布した講義ファイル、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 b 血液学検査</p> | *福本 雅彦 |
| 2022/05/11 (水) 2時限 14:00～14:50 | 臨床検査科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査の手技 (採血・尿検査・血圧) を説明できる。 3. 貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4. 検査結果を適切に分析することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし</p> | *福本 雅彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|--------|
| 2022/05/11 (水) 2時限 14:00～14:50 | 臨床検査科 | <p>学修媒体：4年次に配布した講義ファイル、プリント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 b 血液学検査</p> | *福本 雅彦 |
| 2022/05/12 (木) 1時限 13:00～13:50 | 臨床検査科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3. 貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧について説明できる。 4. 検査結果を適切に分析することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：4年次に配布した講義ファイル、プリント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 b 血液学検査</p> | *淵上 真奈 |
| 2022/05/12 (木) 2時限 14:00～14:50 | 臨床検査科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3. 貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧について説明できる。 4. 検査結果を適切に分析することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：4年次に配布した講義ファイル、プリント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査</p> | *淵上 真奈 |
| 2022/05/13 (金) 1時限 13:00～13:50 | 歯周科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】 1. 歯周病検査を行うことができる。 2. 歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 3. 歯周外科治療の術式について説明ができる。 4. 歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周病検査および治療計画について復習する。</p> | *高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|--------|
| 2022/05/13 (金) 1時限 13:00～13:50 | 歯周科 | <p>準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学習項目：授業配布プリント 事後学習時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査</p> | *高井 英樹 |
| 2022/05/13 (金) 2時限 14:00～14:50 | 歯周科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病検査を行うことができる。 2. 歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 3. 歯周外科治療の術式について説明ができる。 4. 歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周外科治療の術式について予習する。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学習項目：授業配布プリントの復習 事後学習時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> | *高井 英樹 |
| 2022/05/13 (金) 3時限 15:00～15:50 | 歯周科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病検査を行うことができる。 2. 歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 3. 歯周外科治療の術式について説明ができる。 4. 歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周外科治療で用いる器具について予習する。 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学習項目：授業配布プリントの復習 事後学習時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> | *高井 英樹 |
| 2022/05/17 (火) 1時限 13:00～13:50 | 保存修復学 | <p>【授業の一般目標】 硬組織疾患に対して適切に処置できるようになるために、齶蝕と非齶蝕性硬組織疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. エナメル質齶蝕について説明できる。 3. 象牙質齶蝕について説明できる。 4. Tooth wearについて説明できる。 5. 歯の変色・着色について説明できる。 6. 歯の破折について説明できる。 7. 歯の形態不全・位置異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> | *神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|--------|
| 2022/05/17 (火) 1時限 13:00～13:50 | 保存修復学 | <p>準備学修項目：齶蝕(p. 14～26)、非齶蝕性硬組織疾患(p. 27～38) 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学 第6版）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 b 歯の症候（齶蝕、硬組織欠損、変色、亀裂、破折） 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 g 先天異常 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> | *神谷 直孝 |
| 2022/05/17 (火) 2時限 14:00～14:50 | 保存修復学 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に行うために、歯の硬組織疾患の検査と修復前準備に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の硬組織疾患の検査について説明できる。 3. 修復治療の前準備・補助法について説明できる。 4. 修復治療の基本的手技について説明できる。 5. 硬組織疾患の検査と修復前準備に用いる器材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の硬組織疾患の検査（P. 56-64）、修復治療の前準備・補助法（P. 125-108） 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学 第6版）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 a 硬組織・歯髄・根管の検査 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 必修の基本的事項 9 診察の基本 キ 歯・歯周組織の診察 a 歯と修復物の所見</p> | *神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------|---|--------|
| 2022/05/18 (水) 1時限 13:00～13:50 | 保存修復学 | <p>【授業の一般目標】 硬組織疾患に対して適切に処置できるようになるために、硬組織の切削に用いる器材と切削による歯髄障害について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 3. 回転切削器械の種類と用途について説明できる。 4. 回転切削器具の種類と用途について説明できる。 5. 歯髄障害の原因について説明できる。 6. □回転切削器械以外の硬組織切削法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：硬組織の切削 (p. 97～105)、修復治療の留意点 (p. 120～125) 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書 (医歯薬出版 保存修復学 第6版、第7版)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> | *神谷 直孝 |
| 2022/05/18 (水) 2時限 14:00～14:50 | 保存修復学 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に行うために、修復治療の基本的な手技、窩洞、象牙質・歯髄複合体に保護法および修復物の具備すべき形状に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復治療の診療姿勢について説明できる。 3. 修復治療の窩洞について説明できる。 4. 象牙質・歯髄複合体の保護法について説明できる。 5. 修復物の具備すべき形状と面の性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：診療姿勢 (P. 36-40)、窩洞 (P. 109-120)、象牙質・歯髄複合体の保護法 (P. 122-128)、修復物の具備すべき形状と面の性質 (P. 135-137) 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書 (医歯薬出版 保存修復学 第6版、第7版)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> | *神谷 直孝 |
| 2022/05/20 (金) 1時限 | 実習平常試験1 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集、など</p> | *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|---------|--|---------|
| 09:00～10:20 | 実習平常試験1 | 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 | *有川 量崇 |
| 2022/05/24（火） 1時限 13:00～13:50 | 矯正歯科 | 【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 矯正治療の流れについて説明できる。 2. 症例の所見をとることができる。 3. 適切な用語を用いて症例概要を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療計画の立案に必要な診査・検査項目について 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 e 歯列・咬合の症候（不正咬合） | *石井 かおり |
| 2022/05/24（火） 2時限 14:00～14:50 | 矯正歯科 | 【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 矯正治療の流れを説明できる。 2. 診療に用いる器具・器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療に用いる器具・器材 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 i 歯科矯正用材料 | *石井 かおり |
| 2022/05/24（火） 3時限 15:00～15:50 | 矯正歯科 | 【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯の移動様式について説明できる。 2. 矯正装置の作用について説明できる。 3. 矯正力の作用様式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正装置について 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 | *五関 たけみ |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|--|---------|
| 2022/05/24 (火) 3時限 15:00～15:50 | 矯正歯科 | 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 e 不正合の治療 | *五関 たけみ |
| 2022/05/25 (水) 1時限 13:00～13:50 | 歯内療法学 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯・歯髄・根尖歯周組織の正常構造を説明できる。 3. 炎症の原因と機序を説明できる。 4. 急性炎症と慢性炎症を説明できる。 5. 歯髄からの痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容 歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> | *神尾 直人 |
| 2022/05/25 (水) 2時限 14:00～14:50 | 歯内療法学 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯・歯髄・根尖歯周組織の正常構造を説明できる。 3. 炎症の原因と機序を説明できる。 4. 急性炎症と慢性炎症を説明できる。 5. 歯髄からの痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容 歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> | *神尾 直人 |
| 2022/05/25 (水) 3時限 15:00～15:50 | 歯内療法学 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯・歯髄・根尖歯周組織の正常構造を説明できる。 3. 炎症の原因と機序を説明できる。 4. 急性炎症と慢性炎症を説明できる。 5. 歯髄からの痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容 歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療</p> | *神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|--------|
| 2022/05/25 (水) 3時限 15:00~15:50 | 歯内療法学 | 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 | *神尾 直人 |
| 2022/05/26 (木) 1時限 13:00~13:50 | 部分床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 2. 部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 部分床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d フレームワークの試適 e ろう義歯の試適 f 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d サベイング、設計線の記入</p> | *飯島 守雄 |
| 2022/05/26 (木) 2時限 14:00~14:50 | 部分床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 2. 部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 部分床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d フレームワークの試適 e ろう義歯の試適 f 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d サベイング、設計線の記入</p> | *飯島 守雄 |
| 2022/05/26 (木) | 部分床義歯 | 【授業の一般目標】 | *飯島 守雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|-------|---|----------|
| 3時限 15:00～15:50 | 部分床義歯 | <p>テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 2. 部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 部分床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d フレームワークの試適 e ろう義歯の試適 f 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d サベイング、設計線の記入</p> | *飯島 守雄 |
| 2022/05/27（金） 1時限 13:00～13:50 | 全部床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全部床義歯の製作過程を述べることができる。 2. 全部床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 全部床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d ろう義歯の試適 e 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d 人工歯の選択・排列・削合 e 歯肉形成</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2022/05/27（金） 2時限 14:00～14:50 | 全部床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全部床義歯の製作過程を述べることができる。 2. 全部床義歯に使用する器具を述べることができる。</p> | *五十嵐 憲太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|----------|
| 2022/05/27 (金) 2時限 14:00~14:50 | 全部床義歯 | <p>3. 全部床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d ろう義歯の試適 e 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d 人工歯の選択・排列・削合 e 歯肉形成</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2022/05/27 (金) 3時限 15:00~15:50 | 全部床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全部床義歯の製作過程を述べることができる。 2. 全部床義歯に使用する器具を述べるができる。 3. 全部床義歯治療の用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d ろう義歯の試適 e 装着 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 d 人工歯の選択・排列・削合 e 歯肉形成</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2022/05/31 (火) 1時限 13:00~13:50 | 有床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：有床義歯の基礎知識（歯の欠損による障害、欠損の分類等） 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯治療の用語を説明できる。 2. 有床義歯に使用する器具を述べるができる。 3. 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Web Class上の問題を解き自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> | *大久保 昌和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------|---|-----------|
| 2022/05/31 (火) 1時限 13:00～13:50 | 有床義歯 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 a 口腔の変化 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ウ 歯列、咬合</p> | * 大久保 昌和 |
| 2022/05/31 (火) 2時限 14:00～14:50 | 有床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：有床義歯の基礎知識（解剖・咀嚼・嚥下・発音等） 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯治療の用語を説明できる。 2. 有床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Web Class上の問題を解き自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 エ 加齢・老化による口腔・顎顔面の変化 a 器質的变化 b 機能的变化 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 b 顎骨の変化 c 顔貌の変化 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 a 下顎運動検査 b 顎関節・筋機能検査 c 咀嚼機能検査 e 嚥下機能検査 f 発声・構音・発語検査</p> | * 五十嵐 憲太郎 |
| 2022/05/31 (火) 3時限 15:00～15:50 | 有床義歯 | <p>【授業の一般目標】 テーマ：有床義歯の基礎知識（維持・支持・安定、義歯に用いる材料等） 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯治療の用語を説明できる。 2. 有床義歯に使用する器具を述べることができる。 3. 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。</p> | * 五十嵐 憲太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------|---|----------|
| 2022/05/31 (火) 3時限 15:00～15:50 | 有床義歯 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Web Class上の問題を解き自学自習を行う。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ア 非弾性印象材 a 酸化亜鉛ユーージノール b モデリングコンパウンド c 印象用石膏、印象用ワックス ウ 機能印象材 エ 印象用トレー オ 合採得用材料 6 歯冠修復・義歯用材料 ア 高分子材料 a 加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン b ポリスルフォン、ポリカーボネート オ 人工歯</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2022/06/01 (水) 1時限 13:00～13:50 | 障害者歯科学 | <p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能の発達および加齢変化を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食機能の発達について述べられる。 3. 嚥下のメカニズムについて説明できる。 4. 嚥下障害について述べられる。 5. 誤嚥性肺炎について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐 エ 発声、構音 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 e 摂食嚥下障害 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 e 嚥下機能検査 f 発声・構音・発語検査 g 鼻咽腔閉鎖機能検査</p> | *野本 たかと |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------|--|---------|
| 2022/06/01 (水) 1時限 13:00～13:50 | 障害者歯科学 | 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 b 発声・構音・発語障害のリハビリテーション | *野本 たかと |
| 2022/06/01 (水) 2時限 14:00～14:50 | 障害者歯科学 | <p>【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者や高齢者の対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3. 障害者の概念や分類を説明できる。 4. 障害者の行動調整法について述べられる。 5. 障害者および高齢者の歯科治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 ア 診察 b 既往歴・合併症の評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 2 小児への対応 オ 発達障害のある小児への対応 a 自閉スペクトラム症[自閉症スペクトラム障害]〈ASD〉 b 注意欠如・多動症[注意欠陥多動性障害]〈ADHD〉 c 限局性学習症[学習障害]〈LD〉 3 障害者への対応 ア 障害の概念 ウ 行動調整 エ 診察 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理</p> | *梅澤 幸司 |
| 2022/06/01 (水) 3時限 15:00～15:50 | 障害者歯科学 | <p>【授業の一般目標】 障害者、高齢者、要介護者の治療について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スペシャルニーズのある人達の治療環境について説明できる。 3. スペシャルニーズのある人達の治療体位について説明できる。 4. スペシャルニーズのある人達のコミュニケーションについて説明できる。 5. スペシャルニーズのある人達に対するチーム医療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ア 治療の基本 c 治療の場（外来、入院、在宅医療（訪問歯科診療を含む）） イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 b 患者の体位 c コミュニケーション</p> | *梅澤 幸司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------|--|--------|
| 2022/06/01 (水) 3時限 15:00~15:50 | 障害者歯科学 | d チーム医療 | *梅澤 幸司 |
| 2022/06/02 (木) 1時限 13:00~13:50 | 小児歯科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児患者の治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：治療計画について 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学 第5版 学建書院</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 1 治療の基礎 ア 治療計画 a 治療計画の立案・提示</p> | *清水 邦彦 |
| 2022/06/02 (木) 2時限 14:00~14:50 | 障害者歯科学 | <p>【授業の一般目標】 摂食嚥下障害への対応を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. リハビリテーションの概念について説明できる 3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる 4. 摂食嚥下障害への対応が説明できる 5. 治療的アプローチについて説明できる 6. 栄養療法について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について予習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について予習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐 総論V 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 e 摂食嚥下障害 総論VII 治療 6 リハビリテーション ア リハビリテーションの概念 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション c 口腔機能管理</p> | *林 佐智代 |
| 2022/06/02 (木) 3時限 15:00~15:50 | 障害者歯科学 | <p>【授業の一般目標】 摂食嚥下障害への対応を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 嚥下のメカニズムについて説明できる。 3. 摂食嚥下障害への対応が説明できる。 4. 治療的アプローチについて説明できる。 5. 環境的アプローチについて説明できる。</p> | *林 佐智代 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------|--|--------|
| 2022/06/02 (木) 3時限 15:00～15:50 | 障害者歯科学 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 e 摂食嚥下障害 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション ア リハビリテーションの概念 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション c 口腔機能管理</p> | *林 佐智代 |
| 2022/06/03 (金) 1時限 13:00～13:50 | 小児歯科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 保険装置の製作法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保険装置の作製について 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学 第5版 学建書院</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療</p> | *清水 邦彦 |
| 2022/06/03 (金) 2時限 14:00～14:50 | 小児歯科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児齲蝕への対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児歯科国家試験過去問題について 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学 第5版 学建書院</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論</p> | *伊藤 龍朗 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|--------|
| 2022/06/03 (金) 2時限 14:00~14:50 | 小児歯科 | 総論V 診察 2 小児への対応 エ 年齢に応じた対応 | *伊藤 龍朗 |
| 2022/06/03 (金) 3時限 15:00~15:50 | 小児歯科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の外傷歯への対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児歯科国家試験過去問題について 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学 第5版 学建書院</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 b 発育期の特徴</p> | *根本 晴子 |
| 2022/06/06 (月) 1時限 09:00~10:40 | 実習平常試験2 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集、など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> | *有川 量崇 |
| 2022/06/07 (火) 1時限 13:00~13:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴装置の製作法の手順を説明できる。 3. 作業用模型の製作の手順を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作</p> | *内堀 聡史 |
| 2022/06/07 (火) 2時限 14:00~14:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジの要件を説明できる。 3. クラウンの種類を説明できる。 4. ブリッジの種類と構成を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：クラウンブリッジの要件、クラウンの種類、ブリッジの種類と構成</p> | *内堀 聡史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|--------|
| 2022/06/07 (火) 2時限 14:00～14:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>事前学習時間：30分 事後学習項目：クラウンブリッジの要件、クラウンの種類、ブリッジの種類と構成 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテプラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 b CAD/CAMによる製作</p> | *内堀 聡史 |
| 2022/06/07 (火) 3時限 15:00～15:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴治療の補綴前処置を説明できる。 3. 歯冠補綴治療における支台歯形成について説明できる。 4. 支台築造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：補綴前処置、支台歯形成、支台築造 事前学習時間：30分 事後学習項目：補綴前処置、支台歯形成、支台築造 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテプラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成 c 支台築造</p> | *内堀 聡史 |
| 2022/06/08 (水) 1時限 13:00～13:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義、種類、製作方法について説明できる。 3. 印象材の種類と特徴について説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. 印象法の種類と特徴について説明できる。 6. 咬合採得の意義を説明できる。 7. 咬合支持に応じた咬合採得法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得 事前学習時間：30分 事後学習項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテプラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> | *岩田 好弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|--------|
| 2022/06/08 (水) 1時限 13:00～13:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション f 顎間関係の記録</p> | *岩田 好弘 |
| 2022/06/08 (水) 2時限 14:00～14:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。 3. 咬合器を分類し、特徴を説明できる。 4. 半調節性咬合器の調節方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整 事前学習時間：30分 事後学習項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> | *岩田 好弘 |
| 2022/06/08 (水) 3時限 15:00～15:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウン試適時の調整手順と調整方法を説明できる。 3. クラウン咬合面の調整方法を説明できる。 4. 仮着の必要性を説明できる。 5. 各種歯科用セメントの特徴を述べるができる。 6. 術後管理の重要性を説明できる。 7. リコールの意義と検査項目を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：装着と術後管理 事前学習時間：30分 事後学習項目：装着と術後管理 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 h 口腔内試適</p> | *岩田 好弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|--------|
| 2022/06/08 (水) 3時限 15:00～15:50 | 補綴科 (クラウンブリッジ) | | *岩田 好弘 |
| 2022/06/09 (木) 1時限 13:00～13:50 | 顎関節・咬合科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 侵害受容性疼痛について説明ができる。 3. 神経障害性疼痛について説明ができる。 4. 心因性疼痛について説明ができる。 5. 顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> | *飯田 崇 |
| 2022/06/09 (木) 2時限 14:00～14:50 | 顎関節・咬合科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 侵害受容性疼痛について説明ができる。 3. 神経障害性疼痛について説明ができる。 4. 心因性疼痛について説明ができる。 5. 顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> | *飯田 崇 |
| 2022/06/09 (木) 3時限 15:00～15:50 | 顎関節・咬合科 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 侵害受容性疼痛について説明ができる。 3. 神経障害性疼痛について説明ができる。 4. 心因性疼痛について説明ができる。 5. 顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|--------|
| 2022/06/09 (木) 3時限 15:00～15:50 | 顎関節・咬合科 | <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> | *飯田 崇 |
| 2022/06/10 (金) 1時限 13:00～13:50 | 口腔インプラント科：口腔インプラント治療の流れ | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.インプラント治療計画を立案し、治療手順を説明できる。 2.インプラント治療に必要な診査項目と検査法を列挙できる。 3.インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。 4.インプラント治療の印象採得法について説明できる。 5.インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。 6.インプラント治療のリスクファクターを説明できる。 7.インプラントメンテナンスについて説明できる。 8.インプラント治療のトラブルと合併症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p> | *北川 剛至 |
| 2022/06/10 (金) 2時限 14:00～14:50 | 口腔インプラント科：口腔インプラント治療の流れ | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.インプラントオーバーデンチャーについて説明できる。 2.インプラントメンテナンスについて説明できる。 3.インプラント治療のトラブルと合併症を説明できる。 4.インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。 5.インプラント治療の印象採得法について説明できる。 6.インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 技工操作 c インプラントオーバーデンチャーの製作</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラント支持療法</p> | *北川 剛至 |
| 2022/06/13 (月) 1時限 13:00～13:50 | 口腔インプラント学 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.インプラント治療の key word を説明できる 3.インプラント治療に必要な器具の使用目的を説明できる。 4.インプラント治療で製作する装置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> | *村上 洋 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------|---|--------|
| 2022/06/13 (月) 1時限 13:00～13:50 | 口腔インプラント学 | <p>・準備学修項目：インプラント治療の key word 列挙する。 ・準備学修時間： 30分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 技工操作 c インプラントオーバーデンチャーの製作</p> | *村上 洋 |
| 2022/06/13 (月) 2時限 14:00～14:50 | 口腔インプラント学 | <p>【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.インプラント治療の key word を説明できる。 3.インプラント治療に必要な器具の使用目的を説明できる。 4.インプラント治療で製作する装置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：インプラント治療の key word 列挙する。 ・準備学修時間： 30分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術(一次手術)</p> | *玉木 大之 |
| 2022/06/15 (水) 1時限 13:00～13:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科学4年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 a 外科療法</p> | *山本 泰 |
| 2022/06/15 (水) 2時限 14:00～14:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。</p> | *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|------|---|--------|
| | 口腔外科 | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：口腔外科学4年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 a 外科療法</p> | *山本 泰 |
| 2022/06/15（水） 3時限 15:00～15:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：口腔外科学4年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 a 外科療法</p> | *山本 泰 |
| 2022/06/16（木） 1時限 13:00～13:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 手術方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：口腔外科4年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技</p> | *飯塚 普子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--------|
| 2022/06/16 (木) 1時限 13:00~13:50 | 口腔外科 | ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 a 抜歯 | *飯塚 普子 |
| 2022/06/16 (木) 2時限 14:00~14:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 膿瘍の処置を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科4年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 a 抜歯</p> | *飯塚 普子 |
| 2022/06/16 (木) 3時限 15:00~15:50 | 口腔外科 | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科4年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 オ 顎骨</p> | *飯塚 普子 |
| 2022/06/17 (金) 1時限 13:00~13:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12 全身管理に留意すべき疾患・対象) | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、注意すべき心臓疾患特に弁膜疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 心臓弁膜疾患について説明することができる。 3. 弁膜疾患患者の観血的処置時の注意点について説明することができる。 4. 感染性心内膜炎について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4. 管理上問題となる疾患」。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：配付資料、講義記載内容。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> | *竹森 真実 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2022/06/17 (金) 1時限 13:00～13:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12 全身管理に留意すべき疾患・対象) | <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など)</p> | *竹森 真実 |
| 2022/06/17 (金) 2時限 14:00～14:50 | 麻酔・全身管理科 (必修8: 主要な症候) | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、「全身の症候」について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ショックについて説明することができる。 3. ショックの分類について説明することができる。 4. 体重減少・増加を併発する疾患、状態について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学の「6術中管理、Fショック」について学修しておく。 事前学修時間: 30分。 事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間: 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し。 学修媒体: 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 1 全身の症候 ア 一般的症候</p> | *下坂 典立 |
| 2022/06/17 (金) 3時限 15:00～15:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12: オ、注射法の種類) (総論VII: 9-ケ 輸液・輸血療法) | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、注射法および輸液・輸血療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 注射法について説明することができる。 3. 注射法の種類について説明することができる。 4. 皮内注射について説明することができる。 5. 輸液療法について説明することができる。 6. 輸血療法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学の「6術中管理・C 輸液、D 輸血」について学修しておく。 事前学修時間: 30分。 事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間: 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し。 学修媒体: 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 オ 注射法の種類 d 静脈内</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 9 その他の治療法 ケ 輸液・輸血療法</p> | *下坂 典立 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--------|
| 2022/06/20 (月) 1時限 13:00~13:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12:全身管理に留意すべき疾患・対象) | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、注意すべき精神疾患、特に「うつ病」について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. うつ病について説明することができる。 3. うつ病患者に対する歯科治療上の注意点について説明することができる。 4. 統合失調症について説明することができる。 5. 統合失調症患者に対する歯科治療上の注意点について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4. 管理上問題となる疾患」。 事前学修時間: 30分。 事後学修項目: 配付資料、講義記載内容。 事後学修時間: 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し。 学修媒体: 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象 (皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など)</p> | *下坂 典立 |
| 2022/06/20 (月) 2時限 14:00~14:50 | 麻酔・全身管理科 (必修: 11・ア救急患者の診察) | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、バイタルサインの把握と意識障害の評価について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. バイタルサインを挙げることができる。 3. 各バイタルサインの基準値を説明することができる。 4. 意識障害の評価について説明することができる。 5. Japan Coma Scale (JCS) について説明することができる。 6. Glasgow Coma Scale (GCS) について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学「16. 救急救命処置」。 事前学修時間: 30分。 事後学修項目: 配付資料、講義記載内容。 事後学修時間: 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し。 学修媒体: 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 初期救急 ア 救急患者の診察 c 意識障害の評価</p> | *石橋 肇 |
| 2022/06/20 (月) 3時限 15:00~15:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12 全身管理に留意すべき疾患) | <p>【授業の一般目標】 安全な歯科治療を行うために、注意すべき呼吸器疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 閉塞性換気障害について説明することができる。 3. 拘束性換気障害について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4. 管理上問題となる疾患」。 事前学修時間: 30分。 事後学修項目: 配付資料、講義記載内容。 事後学修時間: 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し。 学修媒体: 配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p> | *鈴木 正敏 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--------|
| 2022/06/20 (月) 3時限 15:00～15:50 | 麻酔・全身管理科 (必修12 全身管 理に留意すべき疾 患) | 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象(皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など) | *鈴木 正敏 |
| 2022/06/24 (金) 1時限 09:00～10:50 | 実習平常試験3 | 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集、など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 | *有川 量崇 |
| 2022/06/28 (火) 1時限 09:00～10:40 | 実習再試験 | 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集、など 準備学修時間：十分な準備学修時間をとる 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 | *有川 量崇 |